

安全・安心なまちづくりと交流を支援する街路整備

せんほくし ゆざわし
仙北市、湯沢市

平成28年3月

社会資本総合整備計画

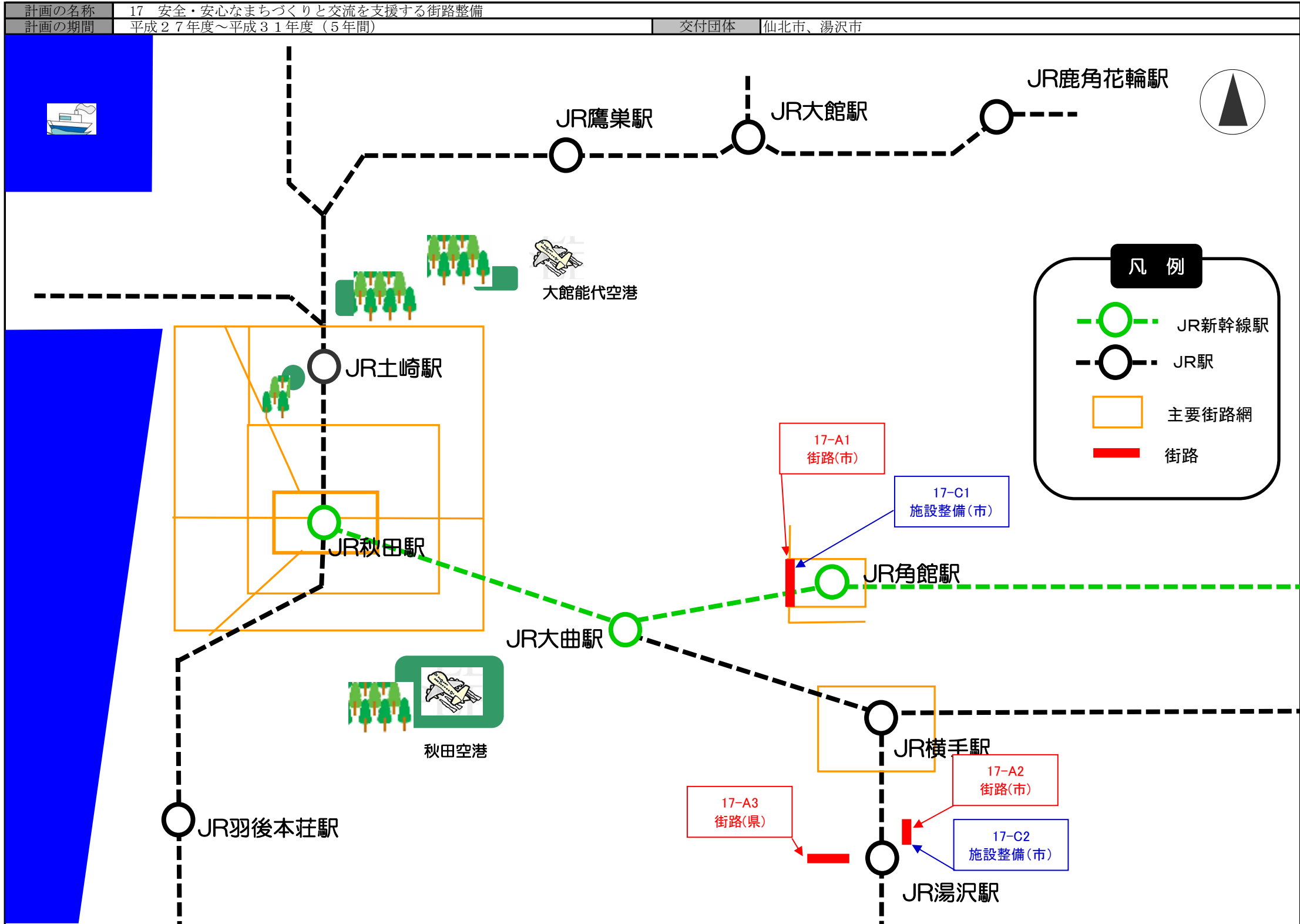
平成28年 3月18日

計画の名称	17 安全・安心なまちづくりと交流を支援する街路整備				重点計画の該当							
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付団体	仙北市、湯沢市									
計画の目標	街路の整備により、市街地の安全・安心で円滑な移動を確保することで、都市と周辺地域との連携、交流を促進させ、まちの魅力向上や産業の活性化など都市活力の向上を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	①市街地（用途）区域内における移動円滑化率の向上											
定量的指標の定義及び算定式	①市街地（用途）区域内における移動円滑化率 Σ移動が円滑化された道路延長 / Σ市街地（用途）区域内における都市計画決定延長 × 100			定量的指標の現況値及び目標値								
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	備考					
				70.3%	79.6%	88.0%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,600 百万円	A	1,505 百万円	B	0 百万円	C	95 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	5.9%

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
17-A1	街路	一般	仙北市	直接		S街路	改築	岩瀬北野線	街路整備 L=0.5km	仙北市						347	
17-A2	街路	一般	湯沢市	直接		S街路	改築	新開地線	街路整備 L=0.2km	湯沢市						710	
17-A3	街路	一般	湯沢市	直接		S街路	改築	駅西線	街路整備 L=0.3km	湯沢市						448	
											合計		1,505				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
											合計		0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
17-C1	施設整備	一般	仙北市	直接		公園整備等	岩瀬北野線周辺環境整備	ポケットパークA=1,000m2	仙北市						45		
17-C2	施設整備	一般	湯沢市	直接		広場整備	交流広場整備	交流広場A=600m2	湯沢市						50		
											合計		95				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
17-C1	街路整備によって生じる河川緑地との空地の高低差を解消し、歩道と併設したポケットパークを一体的に整備することで、歩行者に安らぎと潤いのある歩行空間を提供するとともに安全性を確保する。																
17-C2	道路事業（A2）の実施に併せ、交通結節点の交流機能を強化し、市民、来街者の利便性の向上を図る。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面



社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金)

計画の名称：安全・安心なまちづくりと交流を支援する街路整備

事業主体名：仙北市、湯沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1) 上位計画と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ① 各市都市計画マスタープラン ② 湯沢市中心市街地活性化基本計画 3 その他()	○
②地域の課題への対応	
1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4) 関連事業は基幹事業との一体性が見られる。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が見込まれる内容となっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 基幹事業の必要性が整理されている。	○
2) 関連事業の目的が明確である。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 事業の内容に関し、地元に対する事前説明が行われ合意形成が図られている。	○